



平成29年1月24日

マッシュトレーディング株式会社

## News Release

### シリーズA資金調達に関するお知らせ

マッシュトレーディング株式会社（新潟県新潟市南区、代表取締役社長 小山信雄）は日本戦略投資株式会社が運営するSMBCアグリファンド投資事業有限責任組合を引受先としてシリーズAの第三者割当増資を実施いたしました。調達額は非公開としております。

#### ■ 資金調達の目的

当社は独立大学法人新潟大学農学部との共同研究により、木質系原料と殺菌釜を使用しない茸生産方法及び専用機「マッシュファメンタ」の開発を行いました。また、製法及び専用機について特許審査を完了し、2月上旬には特許証が交付される予定です。

この技術と設備によって、既に新潟と秋田での自社工場で実証生産を行っており、各地の公設市場に出荷して「楽々ひらたけ」（ららひらたけ）として販売しております。更に平成28年10月以降、当社の菌床の特性である「雑菌と温度変化への耐性」を生かし、岩手県住田町・福島県会津坂下町・新潟県阿賀野市・秋田県大潟村の4カ

所で、各地農業生産法人による農業用ビニールハウスを使用しているの  
トライアル生産が開始されました。

この結果を踏まえ、各地の農業者への展開スピードを早めるため、  
社内体制の強化及び生産・販売システムの整備を目的として、今回  
資金調達をいたしました。

#### ■ 当社の事業計画

これまで開発してまいりました 「技術・生産ノウハウ・販売シス  
テム・商標（ブランド）」を使用し、集積・集約化が進む各地の農  
業生産法人に対し

- 秋冬業務を生み出し雇用を促進する
- 所有物件（ビニールハウス）の2次利用
- 収益の良化

などを可能とする季節限定の受委託業務として、「楽々ひらたけ」  
の生産をご提案し「多地域・ワンブランド・統一価格」を展開いた  
します。

この際、各生産地において当社もしくは、当社と生産者の合併によ  
り中・小規模型の培養センターを設立し、物流コストの削減をして  
まいります。

この活動により、各地域生産の「楽々ひらたけ」の総量を、2020年  
には年間1万トンとする計画です。

また、副産物としての使用済菌床から生まれる有機たい肥を利用し  
た農産物についても当社のシステムとブランドを活用し、販売を促  
進して農家の収益化に貢献する計画です。

<報道関係者からの問い合わせ先>

マッシュトレーディング株式会社

専務取締役 駒場裕美

Tel: 090—1257—3001      Email: komaba@lalalog.jp